

イベント情報

event

詳しくは、ウェブサイトをチェックしてください。

やまなし国際ミネラル&ジュエリーショー (入場無料)

毎年恒例の「やまなし国際ミネラル&ジュエリーショー」が開催されます。世界各国の美しい鉱物、パワーストーンや宝石の原石、貴重な化石類など、多くのアイテムが展示・販売されます。また、ミュージアムにおきましても今回のショーに併せて関連展示を行う予定です。

日時：平成28年10月29日(土)～30日(日)

1日目 10:00～18:00

2日目 10:00～17:00

場所：①山梨県防災新館1階オープンスクエア

(山梨ジュエリーミュージアムの隣)

②甲府市役所駐車場

体験プログラムに 新しいメニューが加わります！(9月22日から)



※写真はイメージです。

当館で開催しております体験プログラムのうち、石留め体験はこれまででリングのみでしたが、新たにペンダントが加わります。また石留めリングについても、これまでのものに加え、宝石の向きが横向きのもので加わります。
新たな石留め体験プログラムにぜひご参加ください。



山梨ジュエリーミュージアム
Yamanashi Jewelry Museum

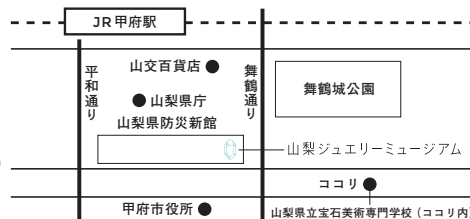
開館時間：午前10時～午後5時30分(最終入館は、午後5時まで)
休館日：火曜日(祝日の場合は、その翌日)、年末年始

※その他臨時に開館・休館することがございます。

入館料：無料 駐車場：92台(山梨県防災新館地下有料駐車場、来館者は1時間無料)

〒400-0031 山梨県甲府市丸の内1-6-1 山梨県防災新館1階(山梨県庁内)

<http://www.pref.yamanashi.jp/yjm/>



cj

craftsman jewelry

2016
August

Vol.7

2016年8月発行



伝統工芸士 詫間 亘

craftsman jewelry file.007 Wataru Takuma



原石に宿る伝統の輝き

詫間亘氏は同じ伝統工芸士の父と兄を持つ。家業として代々続く宝石彫刻、貴石研磨の仕事の幼いころから見続けてきた。社会に出てからも家の仕事を時折手伝いながら、さまざまな経験を蓄えつつ、幅広い人脈を形成していった。工房は日常の風景として存在するものであった。志の対象としては映らず家業を継ぐつもりはなかった。業界全体に高齢化がささやかれて久しい。とりわけ、技術を持った宝石加工職人の後継者の育成が課題となっている。それは詫間宝石彫刻にとっても例外ではなかった。兄である康二氏と父悦二氏が支えてきた家業を父が勇退した後も、盤石なものにするため、15年前、幼き日から見

続けた工房に職人として帰ってきた。兄の指導のもと、3年かかる仕事のイロハを1年で叩き込まれる。家族といえど、職人は多くを語らず。父と兄、二人のものづくりを観察し、技術を盗んだ。伝統工芸士とは、原石を切り出して神仏像、動物、伝説上の生物などかたちあるモチーフを彫る貴石彫刻のプロフェッショナルを指す。研磨機にカーボラダムと呼ばれる研磨剤が浸されている。炭素とケイ素を焼結し、粒状化させた紙やすりの原料になるものだ。ダイヤモンドの次に硬く、耐熱性と弾性を併せ持っているため、研磨の熱で石や刃が割れないようコーティングしながら表面を滑らかにしてくれる。研磨剤で石を

包み込みながら、研磨機を回し、細工を施してゆく。原石が持つ輝きは伝統の技術によって、高貴さを身にまとう。その美しさに職人の真髓が宿る。

素材となる石は世界中から買い付ける。人類が誕生する遙か昔から、時間を旅して結晶化したものだ。数億年の歳月を経て、表面が樹木の化石のような様相を呈している。産地や成り立ち、結晶化する成分などによって、多様なかたち、色、模様を形成する。硬さも石によって違う。どの石の、どの部分を切り出すか、それをどのようなかたちにして魅力を引き出すか、技量が石選びから試されるのだ。貴石彫刻のほか、指輪などジュエリー用の石にカットを付ける宝石研磨士としての側面も持ち合わせている。有名ブランドとの商品を扱うことが多

く、ファッションジュエリーの需要増加を強く感じているという。比較的安価でデイリーに使える、合わせやすいジュエリーアイテムが好まれるなかで、個性もアピールできる瑪瑙(めのう)が人気。一点一点、折り重なった層によって模様が違うため、非常に特徴のある素材だ。伝統に育まれた技術とファッションカルチャーを結ぶ役割を担い、前歴の経験を活かした営業手腕で工房を支える詫間氏。ブランドと共同で有名百貨店での宝石研磨体験を開催するなど、技術だけでなく、自ら売ることの出来る新

しい職人像を目指し奮闘する。偉大な父や兄と比較されるプレッシャー、悔しさを糧に、決して型にとらわれず自由な感性で、自分のスタイルをどん欲に追い求める。日々、石と人と向き合う姿に、宝石産業における新たな時代の潮流を見た。



詫間 亘(たくまわたる)

伝統工芸士。詫間宝石彫刻所属。宝石彫刻とジュエリーに用いる石のカットを主とした宝石研磨士の技術を併せ持ち、工房の営業も担う。職人として新しいスタイルを確立すべく、日々研鑽を重ねる。

<http://www.takumahouseki.com>

詫間亘氏による実演 及び体験指導

11月19日

11月19日(土)に詫間亘氏による宝石研磨の実演及び体験指導が実施されます。お気軽にお立ち寄りください。

